



SURESHOT-K2

YOKOHAMA HOTROD CUSTOM SHOW 2019

Best of Show Motorcycle

オリジナリティと機能美を両立する HCS2019の頂点

1992年に『アメリカン・カスタム・カルチャー』を伝道する「カーショー」としてスタートし、モーターサイクル・エントリーが開始された2002年より現在まで我が国のシーンを牽引してきたといっても過言でないイベント、YOKOHAMA HCS。カーショーで300台、そしてモーターサイクルに至っては650台のエントリーを数えた日本最大のカスタムの祭典、その2019年の頂点に立つマシンをここに紹介しよう。

Text&Photographs / Makoto Watanabe 文・写真・渡辺まこと
取材協力/SURESHOT TEL 043-312-0900 <https://sureshot.jp/>



HCS2019の頂に立つSURESHOTの集大成

カーショウのエントリで300台。そしてモーターサイクルでは600台もの数を誇る「YOKOHAMA HOTROD CUSTOM SHOW」……今や我が国のみならず、世界各国から珠玉のマシンが出演され、注目を集める同イベントだが、その「頂点」に立つには、ある一定の絶対条件と呼ぶべきものが存在している。

無論、その中には優れた溶接や板金技術、ペイントワークなど細かく項目が数多くあるのだが、何より、全体のスタイル・シルエットと、オリジナリティ、こそが評価を決める重要な鍵だろう。

ちなみに今回のHCSでは10数名の審査員が細かく項目分けされたマシンジベーパーで審査を行い、その得点によってアワードが決められたのだが千葉県八街市に拠点を置くシュアショットによる一台が頂点に輝いたことは、より公正さを

求めた結果の必然だったかもしれない。

ビルダーの相川拓也氏によると「シュアショットらしさ」を求めたところこのマシンだが、確かに同店が得意とする、グシカルな味わいと、スポーティーな要素がバランスされ、一台の中で見事なまとまりを見せている。あえて旧軍的に、錆肌っぽく仕上げられたネックやエキゾーストが通過する形のリア周りのフレームワークと、インボードディスク、ブレーキやビレットヘッドのエンジンなどのハテックな要素が、違和感なく、一体化された車体のムードは秀逸だ。

ちなみに車名の「K2」はモラヤにある世界最難関の山の名のことだが、まさにこの一台が目指したのが難攻不落なHCSベスト・モーターサイクルの頂点……狙って狙った今回の結果は、天晴れというより他にない。

YOKOHAMA HOTROD CUSTOM SHOW 2019

Best of Show Motorcycle

SURESHOT-K2

ビルダーの相川拓也氏曰く「シュアショットらしさ」を求め、「機能性」と「スリムでバランスのとれたシルエット」が追求された「K2」は言葉どおり、これまでの同店の歴史、そのすべてを込めたようなフィニッシュが印象に残る一台。エンジンは1969年式アメリカンジョベルをベースに「Speed & Science」製ビレットヘッドを搭載し、ケイヒン・バタフライキップをデュアルで装備したエンジン周りや4連のミッションケースでの5スピード化などのハテックな要素と、あえて飾物ラグ風となったフレームワークをはじめとするクラシカルな要素が車両の中で見事な融合を果たしている点は流石だ。まさにHCSの頂点に相応しい出来栄である。



2008年のHCS初出展以来、過去にベスト・アメリカンをはじめとするアワードを受賞してきたシュアショットの相川拓也氏は、今年とうとう念願の頂点を獲得。H.Dの旧車から最新のインジェクションモデルまで、守備範囲の広さに定評のある業界のホブ、である。



製作:	SURESHOT / 相川拓也
ベース車両:	1968 FLH
排気量:	1200cc
シリンダーヘッド:	Speed & Science
クランク:	H.D
コンロッド:	H.D
ピストン:	KB
クランクケース:	H.D
ロッカアーム:	H.D
ロッカカバ:	H.D
シリンダー:	H.D
キャブレター:	ケイヒン・バタフライX2
エアリーナー:	大物戸東興業製ビレットファンネル
カム:	ANDREWS/A
リフター:	JIMS
バルブ:	KibbleWhite
バルブスプリング:	ANDREWS
点火:	DYNA2000i
エキゾースト:	SURESHOT
ミッション:	S&S製4速ケース / JIMS5速ミッション
シート:	SURESHOT / タンクソフト
シフトレバー&ノブ:	SURESHOT /
プライマリ:	BOL 2インチオープン
タンクペイント:	RODS Design / 佐伯博香
ピストライピング:	RIO STUDIO
フレーム:	ハイドラレプリカウィッシュボーン / SURESHOT
フレームペイント:	桜井裕金 / 桜井淳二
ハンドルバー:	SURESHOTワンオフ
ライザー:	SURESHOTワンオフ
グリッド:	大物戸東興業
リアフエンダー:	SURESHOTワンオフ
フエンダーストラット:	SURESHOTワンオフを片持ち
ヘッドライト:	PER LUX
フェューエルタンク:	SURESHOTワンオフ
オイルタンク:	SURESHOTワンオフ
オイルポンプ:	S&S
シート:	SURESHOT x STUDIO WOKINI
フロントフォーク:	BULTACO / SURESHOT
トリプルクリー:	BULTACO
Fホイル:	2.15x21 H.D純正スムースリム
Fタイヤ:	METZELER
Fブレーキローター:	BERINGER インボードディスク
Fブレーキキャリパー:	BERINGER
Rブレーキマスタ:	ブレンボ
Rホイル:	3.50-18 サンリム
Rタイヤ:	METZELER
Rブレーキローター:	BERINGER インボードディスク
Rブレーキキャリパー:	BERINGER
Rブレーキマスタ:	ニジシ

